

あらかわ一義
市政だより

そくさいかいね

=平成 25 年・第 1 回定例会=



発行者 「礎」 荒川一義
平成 25 年 4 月発行 No.34
TEL. FAX 0767-57-8067
E-mail:k-arakawa@nanaonet.jp

市長提案理由説明

▼平成 25 年・第 1 回定例会は、平成 25 年 2 月 28 日～3 月 22 日迄の 23 日間の会期で開催されました。 ▼提案理由説明で市長は、日本経済の立て直しが着実に進むことを期待したいとし、平成 25 年度七尾市の財政見通しについて、税金は引き続き低い水準で推移し、歳出は依然高い水準で推移する事から、厳しい状況にあると認識を示しました。 ▼一方、間近に迫った「北陸新幹線の金沢開業」「能越自動車道」「能登有料道路無料化」など、この絶好機を逃がすことなく「住み良い七尾市づくり」を目指す様々な施策を積極的に展開する必要があるとしました。 ▼また、新年度には七尾鹿島広域圏事務組合の解散に伴い、地域住民の生活に欠かす事の出来ない、衛生、消防、病院の事務を当市が引き継ぐとし、中能登町の住民の皆様にもサービスの低下が生じないように、組織の再編など執行体制を整え、万全を期すとしました。 ▼当初予算編成に当たり、マニフェストに掲げた「ふるさと七尾づくり 6 つの柱」を重点分野と位置づけ積極的に取り組む姿勢を示しました。 ▼平成 25 年度一般会計の当初予算総額は、320 億 7,000 万円、特別会計は水道事業会計のほか、新たに組み込む病院事業会計予算を合わせた総額は、644 億 2,911 万 8 千円で対前年度比 122 億 2,163 万 9 千円の増となっています。 ▼今議会は、会派を代表する代表質問に 5 名、一般質問 11 名、計 16 名の議員が質問に立ち、市政や議案に対する質疑・質問が行われ、活発な議論が交わされました。 ▼今議会の概ねについてご報告致します。

■平成 24 年度 3 月補正予算の概要(一般会計)

年 度	3 月補正予算	3 月補正後予算額
平成 24 年度	6 億 1,811 万 9 千円	351 億 9,008 万 5 千円
平成 23 年度	△3 億 1,129 万 6 千円	312 億 7,890 万 7 千円
平成 22 年度	3 億 7,088 万 7 千円	323 億 266 万 4 千円



■基金(貯金)残高(平成 24 年度末見込み)

区 分	H24 年度末残高見込額
財政調整基金	35 億 7,447 万 7 千円
減債基金	8 億 3,497 万 2 千円
その他特定目的基金	34 億 654 万 7 千円
特別会計基金	8 億 1,632 万 8 千円
計	86 億 3,232 万 4 千円

■市債(借金)残高(平成 24 年度末見込み)

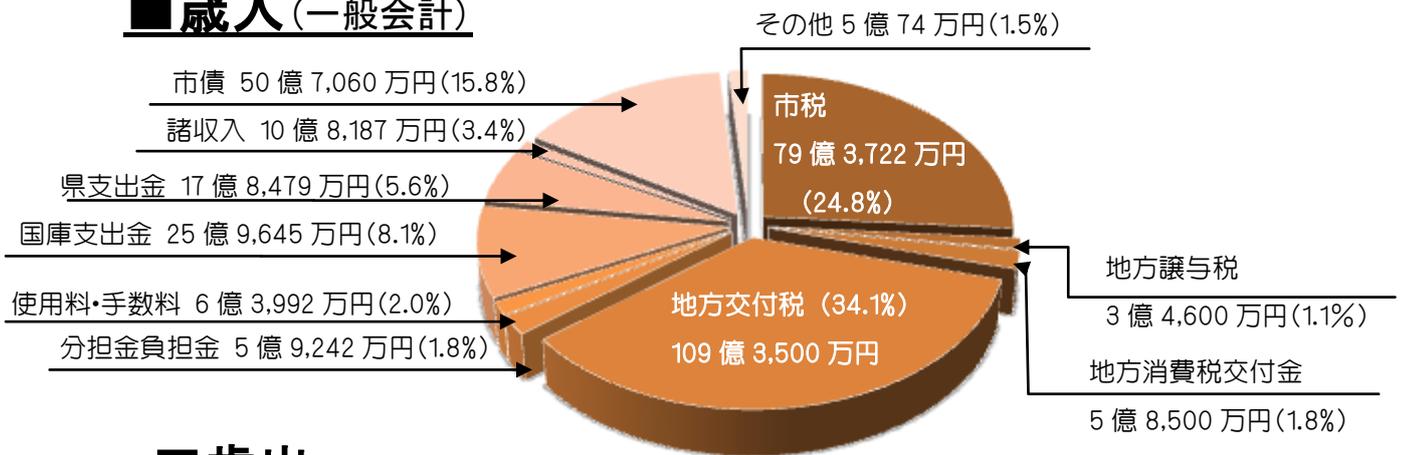
区 分	H24 年度末残高見込額
一般会計	464 億 3,788 万 6 千円
特別会計	340 億 4,896 万 1 千円
ケーブルテレビ事業	19 億 9,842 万 5 千円
簡易水道事業	7 億 8,569 万 7 千円
下水道事業	312 億 6,483 万 9 千円
水道事業会計	56 億 5,036 万円
病院事業会計	121 億 4,788 万 1 千円

■平成 24 年度・国補正予算(第 1 号) **緊急経済対策対応分** <事業内容> (千円)

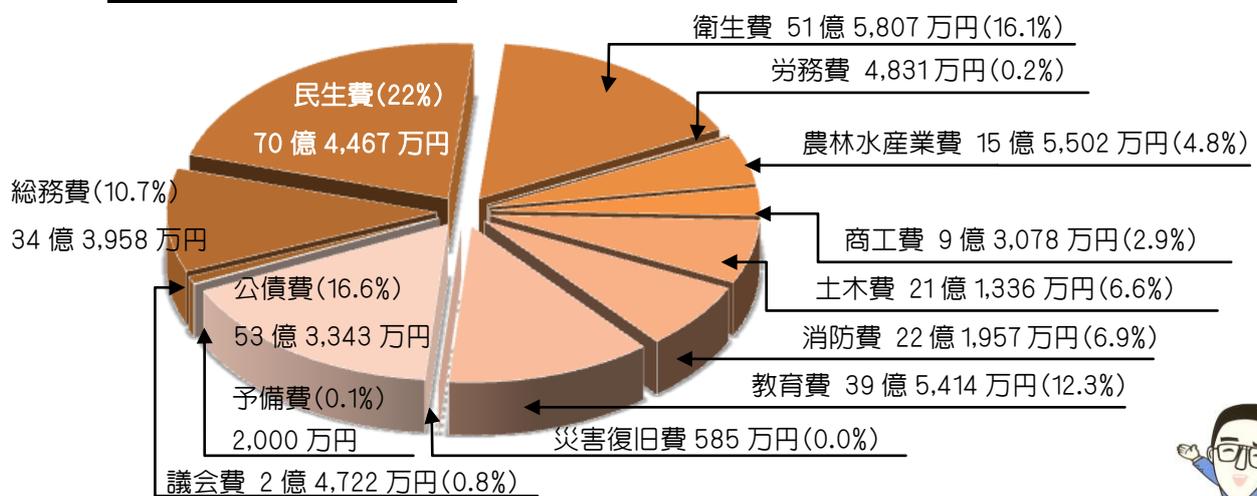
◆1. 事業名(一般会計)	事業内容	事業費	担当課	
基盤整備促進事業	大野木地区(水門改修工事) 国 55%、県 15%、市 20%、地元 10%	6,510	農林水産課	
	農業体質強化(高階、七尾西部、舟尾、相馬、七尾第 3)	57,016		
	赤浦潟地区(水門施設改修工事) 国 55%、県 15%、市 30%、地元 0%	18,008		
県営圃場整備事業	高階地区圃場整備事業	4,500		
	白浜・深見地区圃場整備事業(調査測量設計)	4,500		
	北免田・上島地区圃場整備(調査測量設計)	4,500		
県営老朽溜池整備事業	中島地区(堤体工、斜樋工、底樋工)	5,600		
	能登島向田地区(堤体工、斜樋工、底樋工)	6,400		
	矢田地区(概要設計書作成)	2,006		
県営海岸保全整備事業	中島地区海岸保全整備事業(護岸工 L=210m)	900		
県営土地改良総合整備	熊木川地区土地改良総合整備事業(測量設計調査)	10,000		
震災対策農業水利施設	農道橋耐震調査比(中能登農道橋 ほか 4 橋、多根ダム)	47,807		
過疎集落等自立再生緊急対策事業	マツタケ山再生事業(能登島松茸山再生研究会)	1,000		
	トリガイの養殖基盤整備に対する支援	1,800		
	新規就農者に対する支援(就農 2 年目)	1,200		
里山里海再生モデル事業	里山里海を再生する活動を通じて地域活性化を推進するモデルとなる取り組みに対する支援	7,800	6 次産業化推進総室	
コミュニティバス運行	週回バスの実証実験(土曜日)、バスルート案内看板整備	6,000	企画財政課	
移住交流推進事業	移住・交流推進協議会設立、パンフレット作成、専門誌広告 専門機関との連携、体験ツアー、交流ポータルサイトの構築	6,000		
重要港湾整備事業	七尾港改修事業負担金	47,232	産業振興課	
地域水産物供給基盤	庵漁港整備事業(北防波堤 堤体工 L=70m)	200,025	土木課	
漁村再生交付金事業	鵜野浦漁港整備事業(西防波堤 堤体工 L=50m)	60,060		
県営漁港整備事業	石崎漁港管理費(泊地浚渫)	4,000		
漁港海岸高潮対策事業	三室漁港高潮対策(福留地区 離岸堤 L=17m)	30,030		
水産基盤ストックマネジメント	江泊漁港、祖母が浦漁港、鵜浦漁港、向田漁港	5,136		
除雪対策費	除雪機械導入(ロータリ除雪自動車 1 台、凍結防止剤散布車 1 台)	38,087		
地域活力基盤創造交付金事業	矢田郷 81 号線道路改良(歩道設置 L=90m、歩道橋詳細設計)	50,000		
	橋梁修繕事業費(橋梁修繕設計 6 橋、橋梁修繕 2 橋(藤橋橋、津向 2))	40,050		
	舗装修繕事業(路面性状調査、舗装修繕(北大呑 14 号他))	70,010		
	高田・白浜線道路改良(歩道設置 L=60m W=2.5m)	3,010		
	トンネル点検事業(市道東湊 74 号線 中村隧道)	1,010		
	道路照明灯点検事業(点検 228 基)	4,010		
県営街路事業負担金	湯元和倉温泉駅整備事業	7,922		都市建築課
都市公園管理費	老朽化した公園施設の更新(希望ヶ丘公園ほか 7 ヶ所)	36,015		
公営住宅維持補修費	奥原住宅(駆体・外壁改修・手摺バルコニー)古府住宅(駆体・外壁改修)万行	48,130		
◆2. その他	○公共下水道事業 218,000 千円(下水道事業特別会計) ○消防救急デジタル無線整備 188,185 千円(七鹿広域圏)			

<<平成 25 年度>> 【一般会計】 320 億 7,000 万円 (対前年度比 15 億 5,000 万円 5.1%増)
 【予算総額】 644 億 2,911 万 8 千円 (一般会計・特別会計・公営企業会計)

■歳入(一般会計)



■歳出(一般会計)



◆平成 25 年度当初各会計別歳入歳出予算総括表◆

(単位:千円、%)

区分	平成 25 年度	平成 24 年度	比較	増減率	
一般会計	32,070,000	30,520,000	1,550,000	5.1	
公営企業以外の特別会計	ケーブルテレビ事業特別会計	510,219	539,899	△29,680	△5.5
	国民健康保険特別会計	7,377,801	6,895,384	482,417	7.0
	後期高齢者医療保険特別会計	688,571	731,619	△43,048	△5.9
	介護保険特別会計	6,450,595	6,477,203	△26,608	△0.4
	簡易水道事業特別会計	247,100	357,984	△110,884	△31.0
	下水道事業特別会計	3,528,066	3,750,239	△222,173	△5.9
	公設地方卸売市場事業特別会計	128,841	97,646	31,195	31.9
	西岸財産区特別事業	118	118	0	0.0
	小計	18,931,311	18,850,092	81,219	0.4
公営企業会計	水道事業会計	2,561,619	2,837,387	△275,768	△9.7
	病院事業会計	10,866,188	—	10,866,188	新規
	小計	13,427,807	2,837,387	10,590,420	373.2
合計	64,429,118	52,207,479	12,221,639	23.4	

■平成 25 年度 当初予算 主要施策の概要 (新規事業を主としてあります) (千円)

事業名	事業内容	事業費	担当課
I 訪れたいくなるまちづくり			
北陸新幹線開業対策費	PR 推進ファンド貸付金(2 億円)・公共交通案内看板設置等	202,230	企画財政課
旧中央図書館周辺整備	一本杉通り～小丸山公園を結ぶ周辺整備構想の策定	6,000	
大学連携推進事業費	法政大学(H23 事業協力協定)金沢大学(H24 包括連携協定)	1,000	
移住交流推進事業	地域を通じた活用可能空家発掘(紹介町会 5 万円・所有者 10 万円) 県外からの移住者に対する住宅取得支援(報奨金 5 万円)	1,500 2,800	
若者定住賃貸アシスト	低所得者層の子育て世帯や新婚世帯に家賃助成(10 万円)	1,200	都市整備課
七尾市観光協会運営費	誘客キャンペーン参加費用補助金、旅行エージェント補助金等	9,000	観光交流課
観光振興総務事務費	第 19 回寺町サミット in 七尾(開催事業補助金)	3,500	
	「日本の祭り絵展」能登の祭絵を集めた展示会・傅益瑤氏作品	2,200	
全国自治体職員サッカー	平成 26 年度七尾市開催に向けた選手団の派遣ほか	2,232	秘書人事課
生涯スポーツ振興事業	国際交流日本ジュニアヨットクラブ協議会(H25.5.3～5 日)	1,100	生涯学習課
世界農業遺産活用	世界農業遺産国際会議開催負担金(H25.5.末～6 月上旬)	8,500	6 次産業課
全国名水サミット開催	第 27 回全国名水サミット七尾市会場開催(H25.8.30、31 日)	1,000	環境安全課
文化振興事業	能登演劇堂ロングラン公演(ロミオとジュリエット、H25.9.28～10.27)	20,866	文化課
文化振興施設魅力向上	能登島ガラス美術館展示免震台、中島文化センター(音響卓 36C)	100,910	
II 安心・安全市民の暮らし			
児童手当支給事業	月額 0～3 歳未満 1 万 5 千円、3～小学校終了前(第 1 子、2 子)1 万円(第 3 子以降)1 万 5 千円、中学生 1 万円、所得制限以上世帯 一律 5 千円	795,608	子育て支援
子ども医療助成事業	子供(0～15 歳)に係る医療費窓口支払額の助成(保険適用分) 対象[通院]中学校卒業年度の 3 月末日までに係るもの [入院]中学校卒業年度の 3 月末日までに係るもの 対象拡大分[通院]中学校卒業年度の 3 月末日までに係るもの	90,659	
公立保育所運営費	徳田、袖ヶ江、石崎、高階、大呑、田鶴浜、中島、のとじま	872,701	
私立保育所運営費	ななおあいじ、西湊、あさひ、やまと、よつば、光の子、和倉、小丸山、七尾みなと、本宮、ひまわり、浜岡、東みなと、あかくら	1,295,796	
私立保育所施設整備	和倉保育園→乳児室、調乳室整備及び外壁改修 やまと保育園→保育室床張替、天井、エアコン、外壁改修	23,801	健康推進課
未熟児養育医療事業	養育のため病院等に入院する事を必要とする未熟児に対し、その養育に必要な医療の給付を行う。	4,507	
高齢者福祉施設修繕	デイサービスセンター(のとじま、もみの木苑、ふれあいの里)	8,700	
身体障害者育成医療費	18 歳未満の児童で、身体上の障害や現存する疾患について医療を行わないと将来障害を残す方の医療費助成	2,218	福祉課
病院事業会計	公立能登総合病院事業会計事務経費等に対する繰出金	1,059,313	保険課
斎場管理運営費	ななか斎場(年間約 1,000 件、中能登町委託割合 24.82%)	44,500	環境安全課
ごみ処理施設費	石川北部アールディ・エフ(中能登町委託割合 22.2%) ごみ固形燃料化施設(22.2%)旧焼却施設解体整備(18.63%)	1,480,371	

	中央埋立場(22.2%) リサイクルごみ処理(22.2%)		
し尿処理施設	し尿処理施設管理(年間処理見込 23,600ℓ中能登町 9.67%)	172,951	
消防施設整備	消防無線デジタル化(中能登町委託割合 24.25%)	308,838	
	防火水槽設置(矢田町 1 基、吉田町 1 基)	14,259	
	消防団活動施設整備(第 2 消防団西岸分団所・金ヶ崎分団所)	32,269	
	消防用自動車整備(和倉→消防ポンプ車 1 台、七尾→資機材運搬車 1 台、灘浦→高規格救急車 1 台、西岸→消防ポンプ車 1 台)	90,090	
	中島分遣所改築(設計管理、本体建設工事→約 330 m ²)	107,100	環境安全課
消防本部運営費	一般職員 144 人 (本部→中能登町委託割合 24.25%)	1,011,055	
消防署運営費	管理運営活動費、消防自動車維持管理	58,944	
消防団活動費	第 1 消防団(旧七尾・能登島エリア→定員 271 名) 第 2 消防団(旧田鶴浜・中島エリア→定員 162 名)	58,349	
防災ラジオ購入費	1 世帯 1 台 8,000 円(3,000 円分助成→自己負担 5,000 円)	162,560	
原子力災害訓練事業	原子力防災訓練(訓練参加者お茶代、広域避難施設視察)	892	
通学路安全対策	防護柵 L=600m、路面注意表示 L=810m など	8,000	土木課

III 活力溢れる地域産業づくり

商工振興管理費	新たな産業振興プラン策定に係る経費	5,200	
企業立地等助成事業	㈱スギヨ北陸工場増設(投資助成 12,431 千円、雇用助成 2,500 千円)	15,000	
地域経済再生プロジェクト	創業支援事業(商店街シャッターオープン事業上限 200 万円 3 件) ・市内商店街(一本杉・東部・中央通り・駅前通り・和倉) ・改装費、機器購入費、広告宣伝費、その他開業に必要な経費	6,000	産業振興課
農産物販路拡大モデル	対象団体(認定農業者、3 戸以上の農業者で組織する生産団体) 対象事業(地元農産物の販路拡大につながる取り組み、地元農産物を活用したマーケティング等販売開拓など)	1,332	農林水産課

IV 未来を担う人づくり

学力向上対策事業	G-TEC(ジ-テック)テスト(中学 2、3 年生対象)に係る経費 ・外国語教育で日常生活やビジネスに必要な「聞く、読む、書く」の 3 技能の運用能力向上を目的としたテストの費用	2,834	子ども教育
山王小学校建設事業	プールの改修工事	42,000	
里山里海自然館事業	里山里海自然館(仮称)整備構想策定に係る経費	500	
山王放課後児童クラブ	山王小学校改築に伴い放課後児童クラブの移転新築工事	22,516	子育て支援
陸上競技場管理運営費	日本陸上連盟第 3 種公認更新のための改修工事(5 年間)	76,596	生涯学習課
農業施設整備費	七尾フラワーパーク整備 (マレットゴルフ 18 ホール増設、全体 36 ホール)	10,000	農林水産課
姉妹都市等交流促進	韓国金泉市「道民体育大会」招待参加に対する補助	2,150	男女協働課
指定文化財保護事業	県指定→院内勅使塚古墳(赤倉山)H25～26 年度	590	文化課
	市指定→ケヤキ(飯川町)H25～27 年度	349	
埋蔵文化財発掘調査	千野林田遺跡発掘調査、上町 A・B 遺跡発掘調査	36,940	
文化財保護総務費	国指定文化財「気多の鶺鴒の習俗」に係る鶺鴒の捕獲地整備	5,040	

V 産業・交流・市民生活を支える社会基盤の整備

県営土地改良総合整備	熊本川地区土地改良総合整備(小野の湯頭首工、免田頭首工改修)	40,000	
県営圃場整備事業	高階地区(区画整理 44ha、農道、用排水路整備、暗渠排水)	9,900	農林水産課
	高階第2地区(池崎、満仁地内、区画整理 45ha、)～H30年度	1,602	
	町屋・鳥越地区(区画整理 25ha、農道、用排水路、暗渠排水)	1,287	
	飯川地区(区画整理 42ha、農道、用排水路整備、暗渠排水)	2,878	
	上町・浜田地区(区画整理 27.5ha、農道、用排水路、暗渠排水)	16,025	
	白浜・深見地区(区画整理 38.5ha、農道、用排水路、暗渠排水)	1,025	
和倉2号線道路改良	路線測量、詳細設計、用地測量 L=2,000m W=6.5m	22,630	土木課
西湊24号線道路改良	路線測量、用地測量、詳細設計、用地購入 L=230m W=6.5m	30,084	
矢田郷405号線	土地購入 L=500m W=6.5m	43,320	
都市計画区域見直し	基礎調査費(県が5年毎に調査を実施)県から市へ委託	7,875	都市建築課
し尿処理施設改修	改修工事に係る経費(総事業費 663,000 千円 H25～H26)	589,500	料金業務課

VI 協働のまちづくりの推進

七尾市シンボル等制定	合併10周年に向けた七尾市のシンボル(市歌、花、木等)の制定	2,585	男女協働課
健全な行財政経営推進	標準宅地鑑定評価業務(固定資産評価替え)H27年度	29,106	税務課
	航空写真図データ更新(固定資産評価替え)H27年度	14,000	

【議会質問】

今回の私の代表質問は「七尾市における緊急経済対策としての公共事業」「公民館の今後のあり方と小さな市役所構想」「ワール・NANA Oとシティプロモーションを活かした戦略」「MICE誘致による交流人口拡大戦略」「七尾市教育委員会委員長・教育長への就任」「七尾市スポーツ大使と NANA O アスリートネットワークの構築」「公立能登総合病院」の7点19項目について質問しました。

■公立能登総合病院について



質問・七尾鹿島広域圏事務組合が3月末で解散するが、以下2点について伺う。

- 1.原子力防災広域避難(UPZ)に患者さん達は、どこへどう避難するのか？今後どう取り組むのか？
- 2.夜間透析の実施が遅れているが最大の原因と今後の対応策を伺う？

市長答弁・1.県が策定中の原子力防災計画や、市の地域防災計画原子力災害対策編に基づいて、災害時に入院患者などを避難させる為の病院独自の計画を策定する事になっている。

この計画には、具体的な避難経路や誘導責任者、誘導方法、入院患者の移送に必要な資機材の確保について、県、市と連携しながら計画に盛り込んでいく。入院患者の具体的な受け入れ先や避難先については、今後、県、市が確保する。

2.透析業務は、朝の7:00～夕方6:45分まで、早番、遅番などの勤務体制であたっている。透析部の看護師だけでは対応しきれず、他の病棟からの応援を得ながら取り組んでいるのが、人的には極めて厳しい状況にある。

この様な中で病院では、医師、看護師の確保に努めていますが、なかなか確保できない現状にあり、夜間透析の再開は極めて困難な状況にある。

大変ご迷惑をかけていますが、この現状をご理解いただきたい。

【議会質問】

今回の私の議会質問は「市長の政治姿勢」「市長マニフェストの実現」「七尾市総合計画」「平成 25 年度当初予算編成」「世界農業遺産国際会議」「寺町サミット開催」「健康マイレージの導入」7 点 29 項目について質問しました。



■ハッピーリタイアメント構想について



質問・市長マニフェストの中の、ハッピーリタイアメント構想について

- 1.七尾版・ハッピーリタイアメント構想とはどのようなものか？
- 2.経済の波及効果をどう考えるのか？

市長答弁・1.元気なシニア世代が都市圏の現状を退いた後、第 2 の人生を七尾で住んでいただく取り組みです。七尾市は先の経済雑誌で、高齢者が住み良い街で全国 4 位に位置づけられた。市内 2 つの病院を有する医療体制や充実した介護福祉施設が在る事が評価され、単なる田舎暮らしではなく生活する上で安全安心と利便性がコンパクトにまとまった街が強みと考えている。加えて豊かな自然や四季折々の旬の味覚を味わいながら生活できる。

2.【メリット】①定住人口の確保による域内消費による拡大。②人的なつながりによる交流人口の拡大。③経験やノウハウによる地域産業への活用波及効果。④空き家対策にもつながる事を期待。

【デメリット】①病気などで年が行くにつれ、年金だけでは生活が難しくなる事で、雇用の場も必要となって来る。その雇用の場の確保が出来るのか。②医療費や介護福祉に対する市の財政負担が高む事が心配。

■世界農業遺産国際会議について



質問・この国際会議は来年 5 月末に能登地区で開催する事が決まっている。

この国際会議を七尾会場として位置付けられないか？ 会議に向けての進捗状況はどうか？

市長答弁・県が窓口となり、来年 5 月下旬に能登で開催されることが決定している。具体的な日程や開催場所を含めた詳細については調整中である。年明けには開催実行委員会を立ち上げ、会議全体の企画実施について進める事になっている。

七尾市での開催は、**七尾市議会 第2回議会報告会**に働き掛けていく。

開催日	開催場所	参加者数
11月12日	中島市民センター	12
	能登島市民センター	17
11月13日	徳田公民館	15
	北大呑公民館	14
11月20日	フォーラム七尾	18

	石崎公民館	
11月21日	七尾サンライフプラザ	
	サンビーム日和ヶ丘	8
合 計		110人

七尾市議会 第2回議会報告会 開催

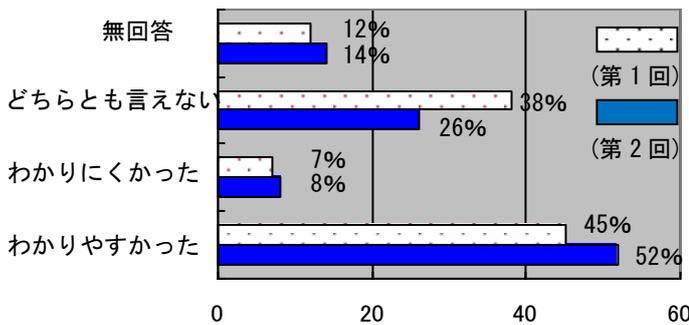
■七尾市議会では「議会基本条例」の制定に伴い、議会報告会の

参加者数(人)	
第1回	208
第2回	110
延べ人数	318

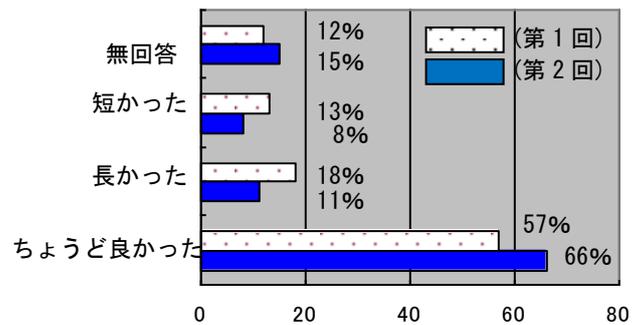


■議会報告会の終了後にアンケート調査を行いました。

▼報告内容はどうでしたか？ (%)



▼報告会の時間はどうでしたか？ (%)



■意見・感想や提案(議会だより等で掲載すると共に、市政に対する意見提言で重要なものは市長に通知します)

▼報告会場での主な質問。

- ・定住人口促進を図る報告が触れられていない残念。
- ・企業誘致のため市の職員を東京に貼り付けにせよ。
- ・ケーブルテレビの加入率を上げる努力はしているのか。
- ・報告会は何人でも開くのか。今後も続けるのか。
- ・サッカーグラウンドを多目的に使えないのか。
- ・七尾線存続について議会としてどうか。
- ・下水道の接続で一人世帯に対する配慮はされているか
- ・自主防災組織運営に伴う条例を弾力的に見直せ。
- ・北嶺中の跡地利用や有機小管理は誰がやるのだ。
- ・広域圏解散に伴うデメリットや運営は大丈夫なのか。
- ・議員数が多い話が出ているが議員の想いを聞かせよ。
- ・資料の中で100億程計算が違うがどうなっている。
- ・ゴミ袋で七尾市と中能登町ではなぜ値段が違うのか。
- ・緊急防災告知システムは耳の聞こえない人や遠い人には聞こえない。議会はしっかり対応せよ。

▼アンケート調査での意見

- ・議題を1点に絞り民間専門業者も入れ質疑応答。
- ・質疑応答の時間を増やしてほしい。参加者が少ない。
- ・地域密着でお願いしたい。市民憲章の唱和をすべき。
- ・とても前向きな取り組みだ。議会全体で行う意義があると思う。市民の意識向上にもつながる。
- ・いろんな質疑応答があって良かった。支援者だけではなく市民が声を伝えられて良い。
- ・今後も続けてほしい議員の生の声が聞けるのは良い
- ・諸問題に対する具体策を話してほしい。
- ・このような機会がもっとあればよい。
- ・開催が増えれば要望が強くなるだけに思う。
- ・議員報酬は日当制が良い。時間帯が良くない。
- ・チェック機能が後手に回っている気がする。
- ・委員会における議論内容をもっと詳細に説明せよ。
- ・ケーブルテレビに字幕をつけてほしい。

